

※実務経験のある教員による授業科目

## 授業概要

インターンシップⅡは3年次夏季以降にインターンシップを体験しようとする学生のための授業です。インターンシップ実習は受講者自らが受入先を選択し、応募し、採用されて初めて実施可能になります。このことから、授業は、事前指導と実習を経験した学生の事後指導とに分かれます。

また、春期に登録する科目ですが、夏季休業中に、一定の要件を満たしたインターンシップ実習の実施を前提としているため、9月の秋期開始前に事後指導を行った後に単位認定を行います。学生は、これらすべてに出席していなければなりません。

## 授業計画

第1回	事前指導	事前ガイダンス（インターンシップⅡの進め方）とインターンシップの意義
第2回		応募書類の作成準備①（自己分析）
第3回		応募書類の作成準備②（自己PR）
第4回		実習を想定したグループワーク
第5回		職種と業界の理解
第6回		採用に関するゲストの講演・交流会（予定）
第7回		応募先の検索①（検索方法と応募先の検索）
第8回		応募先の検索②（応募先の検索と応募書類）
第9回		応募書類の作成③（自己PRと志望動機など）
第10回		インターンシップを実施する上でのマナー①（ビジネスマナー）
第11回	インターンシップを実施する上でのマナー②（誓約書や実施条件等の確認）	
第12回	事後指導	実習日誌の整理と要件の確認等
第13回		実習後の反省や今後（就活）に向けての課題の検討
第14回		インターンシップ報告書の作成準備・プレゼンの準備
第15回		（報告会）プレゼンテーション
第16回		「インターンシップⅡ 成果報告書」の提出

※ 内容はおおよその目安であり、適宜変更する可能性があります。

## 到達目標

インターンシップ実習に応募し、実習を通じて就業意識を向上させることにより就職活動に向けて準備をおこなうこと。

## 履修上の注意

- ・第1回目の授業に必ず出席すること。
- ・単位取得のためには、通常の授業への出席に加え、
  - ①一定の要件を満たしたインターンシップ実習を体験すること、②事後指導を受けることが条件になります。
 なお、実習先は、一部紹介可能な場合がありますが、マッチング等の問題で必ずしも実施に至るわけではありません。したがって、自らが受入先を探し、要件を満たす実習を行う必要があります。
- ・授業の趣旨から、卒業年次生は登録を遠慮してください。

## 予習・復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手すること。
- ・復習：授業後に職種・業界・企業研究を行うこと。

## 評価方法

- ・平常点を50%と実習50%（インターンシップの実習日誌、実習先の評価、プレゼンテーション、レポートなど）を目安として総合的に評価します。
- ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応します。詳しくは第1回目の授業でお話しします。

## テキスト

- ・特に使用しません。